



花のある 空間

大高 令子

野性味溢れる 5月の ガーデンローズ

今月の花材

バラ(ラロック) ・ アイビー…… グリーンの蔓

ハーデンベルギア…… 白い小花を付けたグリーンの蔓

古くから品種改良が繰り返され、沢山の品種が生みだされたバラ。5月に開花するものが最も多いと言われています。

こちらのラロックは、花弁を満開に咲かせてから出荷される昨今人気の「オープンタイプ」のもの。

満開でも花もちが悪いわけではなく、蕾の状態で出荷される品種よりも、長い間土から養分をたっぷり吸収してから出荷されるクオリティの高いバラです。

今月は、フリルのような花弁を持つラロックを、バラ園の一角を切り取ったようなグリーンたっぷりの野性味溢れるアレンジにして楽しみましょう。

まず器を用意してセロファンを敷き、フローラルフォーム(花を活けるスポンジ)をセットします。

アイビーを、フローラルフォームにしっかり挿してから器の縁に巻き、さらにハーデンベルギアを挿し、グリーン豊かなベースをつ

くります。

最後にラロックを高さ、幅、奥行きバランスを見ながら深く活けます。いずれの植物も、茎の切り口はシャープにカットしてしっかり吸水させてください。

野性的な印象をもたらすために、蔓性のグリーンを多めに使うことと、バラの凹凸を大きくとることがポイントです。

多彩な進化を続けるバラを、5月中存分にお楽しみください。▲